

教育研究業績書

令和4年3月1日

氏名 高嶋 真之

認定を受けようとする課程における担当授業科目

教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育に関する科目
	北海道の教育 (クラス分け・オムニバス)	・教育制度論 (クラス分け・単独) ・教育実習 I A (クラス分け・単独) ・教育実習 I B (クラス分け・単独) ・教職実践演習(中・高) (クラス分け・単独)	

教育上の能力に関する事項

事項	年 月	概要
1 教育方法の実践例	平成30年4月～	・授業で配布する資料（「授業レジュメ」「ワークシートまとめ」）をWEB上で共有した。 ・授業レジュメにQRコードを添付し、関連するWEBサイトにアクセスして追加情報を入手することを容易にした。 ・ワークシートに書かれた学生の意見を整理して「ワークシートまとめ」を作成し、授業外の時間に他の学生の意見から自分の考えを深めることを促している。
2 作成した教科書・教材	平成30年4月～	・横井敏郎編著『教育行政学 子ども・若者の未来を拓く [新版] [第3版]』（八千代出版）を共同で執筆し、教育制度論の授業で活用している。「教育支出の国際比較」と「学校の設置者と私立学校」の執筆を担当した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価	平成30年3月	・北海道大学教育学部「教育基礎論調査実習（教育行政学・学校経営論）」にてティーチング・フェロー（TF）として、授業担当教員と共同で授業を開講した。授業担当教員からは、全てのチェック項目で「5（十分達成できた）」と評価され、「調査先の選定や調査方法の指導、調査時の学生のフォロー、調査後の報告書執筆の指導と、実習を通じた教育面全般で素晴らしい活躍をしてくれた。」と評価コメントをいただいた。
4 実務の経験を有する者についての特記事項	平成31年3月	・北海道奥尻高等学校1・2年生を対象に「北海道大学教育学部×奥尻高校 メタセッション」と題した出張授業（「奥尻高校の町立化に関する調査報告」）の講師を担当した。
5 その他		特記事項なし

職務上の実績に関する事項

事項	年 月	概要
1 資格、免許		特記事項なし
2 学校現場等での実務経験		特記事項なし
3 実務の経験を有する者についての特記事項		特記事項なし
4 その他		特記事項なし

様式第4号（教員個人に関する書類）

担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概要 (共著の場合は全員の著者名を記載) (共著及び執筆ページ数が抽出できない場合は執筆箇所を詳述)
北海道の教育（クラス分け・オムニバス）	(学術論文等) 1. 「過疎地域における公設型学習塾の設置と教育機会の保障—北海道足寄町「足寄町学習塾」を事例として—」	単	令和3年 3月	『教育学の研究と実践』第16号	12	本論文では、過疎地域の自治体で設置が進んでいる公設型学習塾に着目して、 <u>北海道の設置動向と、北海道足寄町「足寄町学習塾」の法制度・財政と教育活動・取り組みを分析した。</u> これらを踏まえて、公設型学習塾の意義と課題を整理した上で、学校と学校外の両方を射程に入れて地域の公教育を構想していく必要性を論じた。以上を通して、「 <u>北海道の教育</u> 」の指導に求められる今日の <u>北海道の過疎地域の教育事情に関する理解を深めた。</u>
	(教育実践記録等) 1. 「生活保護受給世帯・就学援助利用世帯・ひとり親家庭の子どもへの学習支援—札幌市における2つの事業の意義と課題—」	共	平成28年 7月	『公教育システム研究』第16号	7 (34)	本論文では、自治体が実施する貧困世帯の子どもを対象とした学習支援事業について、 <u>北海道札幌市で実施されている「札幌まなびのサポート事業（まなべえ）」と「まなトピア」の意義と課題を検討した。</u> 高嶋はこのうち、主に「札幌市における2つの学習支援事業の総合的検討」の執筆を担当し、福祉行政が主体となって行われる教育活動の到達点と改善点を論じた。以上を通して、「 <u>北海道の教育</u> 」の指導に求められる今日の <u>北海道の都市部の教育事情に関する理解を深めた。</u> (執筆担当部分：「先行研究・課題設定」「札幌市における2つの学習支援事業の総合的検討」) 著者：高嶋真之、王婷、井川賢司、武田麻依、飛田岳、福田耀介、眞鍋優志、安江厚貴、篠原岳司
教育制度論（クラス分け・単独）	(著書) 1. 『教育行政 子ども・若者の未来を拓く [第3版]』	共	令和2年 10月	八千代出版	6 (271)	本書では、現代日本の教育行財政の仕組み、近年の教育改革・教育政策、子ども・若者支援の現状と課題などのトピックを幅広く紹介している。高嶋はこのうち、「教育支出の国際比較」にて、OECDのデータから <u>教育支出の公私負担割合の各国比較</u> を行い、日本の教育財政の特徴を論じた。「 <u>学校の設置者と私立学校</u> 」にて、 <u>学校設置者の規制緩和の動向や、私立学校の歴史・法制度</u> を論じた。以上を通して、「 <u>教育制度論</u> 」の指導に求められる <u>教育財政・教育制度に関する理解を深めた。</u> (執筆担当部分：「教育支出の国際比較」「学校の設置者と私立学校」) 著者：横井敏郎、坪井由実、辻村貴洋、高嶋真之、伊藤健治、岡部敦、横関理恵、

様式第4号（教員個人に関する書類）

	<p>2.『公教育制度の変容と教育行政—多様化、市場化から教育機会保障の再構築に向けて』</p>	共	令和3年 10月	福村出版	18 (232)	<p>眞鍋優志、安宅仁人、篠原岳司、津田紗希子、渡辺篤志、栗野正紀、明田川知美、市原純</p> <p>本書では、現在進行している<u>公教育制度の変容</u>を多角的に論じ、<u>教育行政の果たすべき役割と責任</u>について検討している。高嶋はこのうち、近年の公教育と民間教育産業の関係がいかに変容しているのかを、国・地方自治体・学校の各レベルで分析した後、<u>民間教育産業のもつ力を発揮できる有効な範囲と程度を見極め、その逸脱を防ぐための制限と統制のあり方を探求していく必要性</u>を論じている。以上を通して、「<u>教育制度論</u>」の指導に求められる今日の教育改革の動向に関する理解を深めた。</p> <p>（執筆担当部分：「Society 5.0時代における公教育と民間教育産業の関係と教育行政の課題」） 著者：奥平博一、柏木睦、柏木智子、川本吉太郎、佐々木司、佐藤智子、園山大祐、<u>高嶋真之</u>、滝沢潤、本田哲也、前原健二、松下丈宏、皆川雅仁、横井敏郎</p>
	<p>（学術論文等） 1.「戦後日本の学習塾をめぐる教育政策の変容」</p>	単	令和元年 7月	『日本教育政策学会年報』第26号	10	<p>本論文では、戦後日本の各時代で取り組まれた<u>学習塾をめぐる教育政策</u>を分析し、今日の<u>地方自治体・学校と学習塾の連携の拡大</u>に至る歴史的な経過を資料を基に明らかにした。その結果、学習塾への批判を全面的に展開する段階、学習塾への批判を展開しながらも同時に受容していこうとする段階、学習塾への批判を抑制しながら受容していこうとする段階の3つに区別可能であることを示した。以上を通して、「<u>教育制度論</u>」の指導に求められる教育政策に関する理解を深めた。</p>
	<p>（教育実践記録等） 1.「都道府県立高等学校の学校設置者移管に関する研究—北海道奥尻高等学校を事例に一」</p>	共	令和元年 12月	『北海道大学大学院教育学研究院紀要』第135号	13 (35)	<p>本論文では、北海道奥尻高等学校の町立移管を事例に、<u>学校設置者移管に伴う教育行財政の変化</u>と高校に関する新規事業の展開を明らかにした。高嶋はこのうち、主に「<u>道立奥尻高校の町立移管過程</u>」の執筆を担当した。町立移管のプロセスを整理し、それを踏まえて、<u>奥尻高校ではなぜ・どのようにして町立移管が可能となったのか</u>という政治経済的・教育行政的な背景要因を考察した。以上を通して、「<u>教育制度論</u>」の指導に求められる教育行政に関する理解を深めた。</p> <p>（執筆担当部分：「奥尻町・奥尻高校の概要」「道立奥尻高校の町立移管過程」） 著者：篠原岳司、<u>高嶋真之</u>、大沼春子</p>

様式第4号（教員個人に関する書類）

	<p>2. 「離島における自治体主導型学習支援事業の現状と課題—沖縄県北大東村「なかよし塾」を事例に一」</p>	共	令和2年 9月	『島嶼地域科学研究』第1号	13 (20)	<p>本論文では、沖縄県と沖縄県北大東村「なかよし塾」を対象に、<u>自治体主導型学習支援事業の取り組みの現状と課題</u>を明らかにし、<u>離島で生まれ育つ子どもたちの教育保障のあり方について</u>検討した。高嶋はこのうち、主に「北大東村「なかよし塾」の現状と課題」の執筆を担当し、「なかよし塾」の制度と実践や学校との連携などについて論じた。以上を通して、「<u>教育制度論</u>」の指導に求められる教育政策に関する理解を深めた。</p> <p>（執筆担当部分：「はじめに」「北大東村における学校内外の教育環境」「北大東村「なかよし塾」の現状と課題」「おわりに」） 著者：佐久間邦友、高嶋真之、本村真</p>
教育実習 I A (クラス分け・単独)	<p>（教育実践記録等）</p> <p>1. 「北海道奥尻高等学校の町立化に伴う変化—教職員・生徒・地域住民へのインタビュー調査より—」</p> <p>2. 「公設型学習塾における地域課題解決学習の実践—「高校生と一緒に楽しい白馬村を考える会」実践を手掛かりに一」</p>	共 単	令和元年 9月 令和3年 3月	『公教育システム研究』第18号 『北海道民間教育研究団体連絡協議会紀要（みんきょう）』No. 136	6 (27) 5	<p>本論文では、北海道奥尻高等学校と奥尻町を対象に、学校設置者の変化により高校や町にどのような変化が生じるのかを、行政・教職員・生徒・地域住民へのインタビュー調査によって明らかにした。高嶋はこのうち、「奥尻高校と奥尻町の町立化前後での変化」の執筆を担当し、<u>町立化を契機として教育活動や生徒の構成に変化が生じたこと</u>論じた。以上を通して、「<u>教育実習 I AB</u>」の指導で求められる実習先となる高校の教育実践とそこで学ぶ生徒に関する理解を深めた。</p> <p>（執筆担当部分：「調査の概要と報告書の構成」「奥尻高校と奥尻町の町立化前後での変化」） 著者：高嶋真之・大沼春子・尹景慧・淡路佳奈実・川村睦月・杉谷真実・田宮弘貴・松尾奈緒・篠原岳司</p> <p>本論文では、<u>長野県白馬高等学校の部活動の一つである「プロジェクト学習同好会」が実施した地域課題解決学習の実践</u>を、<u>参与観察（「高校生と一緒に楽しい白馬村を考える会」）と同好会顧問である塾スタッフへのインタビュー調査</u>により明らかにした。実践を通して、生徒と地域住民の対話の機会を創出し、生徒自身が探究することで、生徒の地域に対する認識の変化が生じたことを論じた。以上を通して、「<u>教育実習 I AB</u>」の指導で求められる実習先となる高校の教育実践とそこで学ぶ生徒に関する理解を深めた。</p>

様式第4号（教員個人に関する書類）

教育実習 I B (クラス分け・単独)	(教育実践記録等) 1. 「北海道奥尻高等学校の町立化に伴う変化—教職員・生徒・地域住民へのインタビュー調査より—」	共	令和元年 9月	『公教育システム研究』第18号	6 (27)	(再掲のため、略)
	2. 「公設型学習塾における地域課題解決学習の実践—「高校生と一緒に楽しい白馬村を考える会」実践を手掛かりに—」	単	令和3年 3月	『北海道民間教育研究団体連絡協議会紀要(みんきょう)』No. 136	5	(再掲のため、略)
教職実践演習 (中・高) (クラス分け・単独)	(教育実践記録等) 1. 「離島地域における超小規模高校の教育と地域おこし—羽幌町立北海道天売高等学校と天売島を事例に—」	共	平成29年 6月	『公教育システム研究』第16号	11 (38)	本論文では、全校生徒5人（調査当時）の <u>羽幌町立北海道天売高等学校が、いかに学校を維持して教育活動を行い、島の活性化につながっているのかを、行政・教職員・生徒・NPO法人へのインタビュー調査によって明らかにした。高嶋はこのうち、主に「本調査のまとめ」の執筆を担当し、天売高校と天売島が相互の支え合いによって成り立つ様子を論じた。以上を通して、教職課程の総仕上げに位置づく「教職実践演習」で求められる学校教育と学校経営の全体像の把握に努めた。</u>
	(その他) 1. 「羽幌町立北海道天売高等学校全校生徒5名の超小規模高校の挑戦—地域を支え、地域に支えられる島の高校の姿—」	単	平成29年 9月	『月刊高校教育』2017年9月号、学事出版	6	本稿では、北海道天売高等学校の全体像を論じた。まず、天売高校で行われている特徴的な教育活動を、① <u>少人数教育の実現</u> 、② <u>水産実習・水産クラブ研究</u> 、③ <u>郷土学習「天売学」(総合的な学習の時間)</u> 、④ <u>働きながら学ぶの4つの視点で整理した。そして、高校と生徒の存在が地域を支え、羽幌町の支援や天売島民の協力が高校を支えていることを論じた。以上を通して、教職課程の総仕上げに位置づく「教職実践演習」で求められる学校教育と学校経営の全体像の把握に努めた。</u>
	2. 「北海道白糠高等学校 地域と共につくる生徒・高校・町の未来—小規模高校による連	単	令和3年 10月	『月刊高校教育』2021年9月号、学事出版	6	本稿では、北海道白糠高等学校の全体像を論じた。特に、町独自に追加で教職員を配置している点に着目し、 <u>学校内外で地域と連携・協働しながらキャリア教育やふるさと教育「白糠学」(総合的な探</u>

様式第4号（教員個人に関する書類）

	携・協働の広がり —」					<p>究の時間) などの多様な教育活動が実施されていること、それを地域・教育コーディネーターが支えていることを論じた。以上を通して、<u>教職課程の総仕上げに位置づく「教職実践演習」で求められる学校教育と学校経営の全体像の把握に努めた。</u></p>
--	----------------	--	--	--	--	--